

Model 1200J パワールーパー取り扱い説明書
 PowerLuber Grease Gun

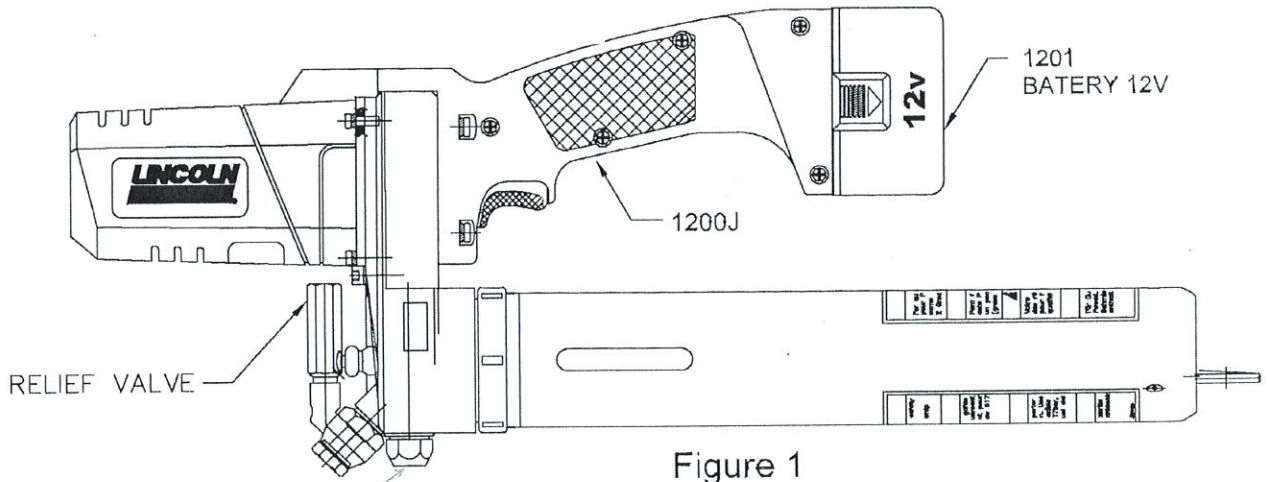


Figure 1

このポートに付属のホース、もしくは下記のようにリジッドチューブを取り付けて下さい。

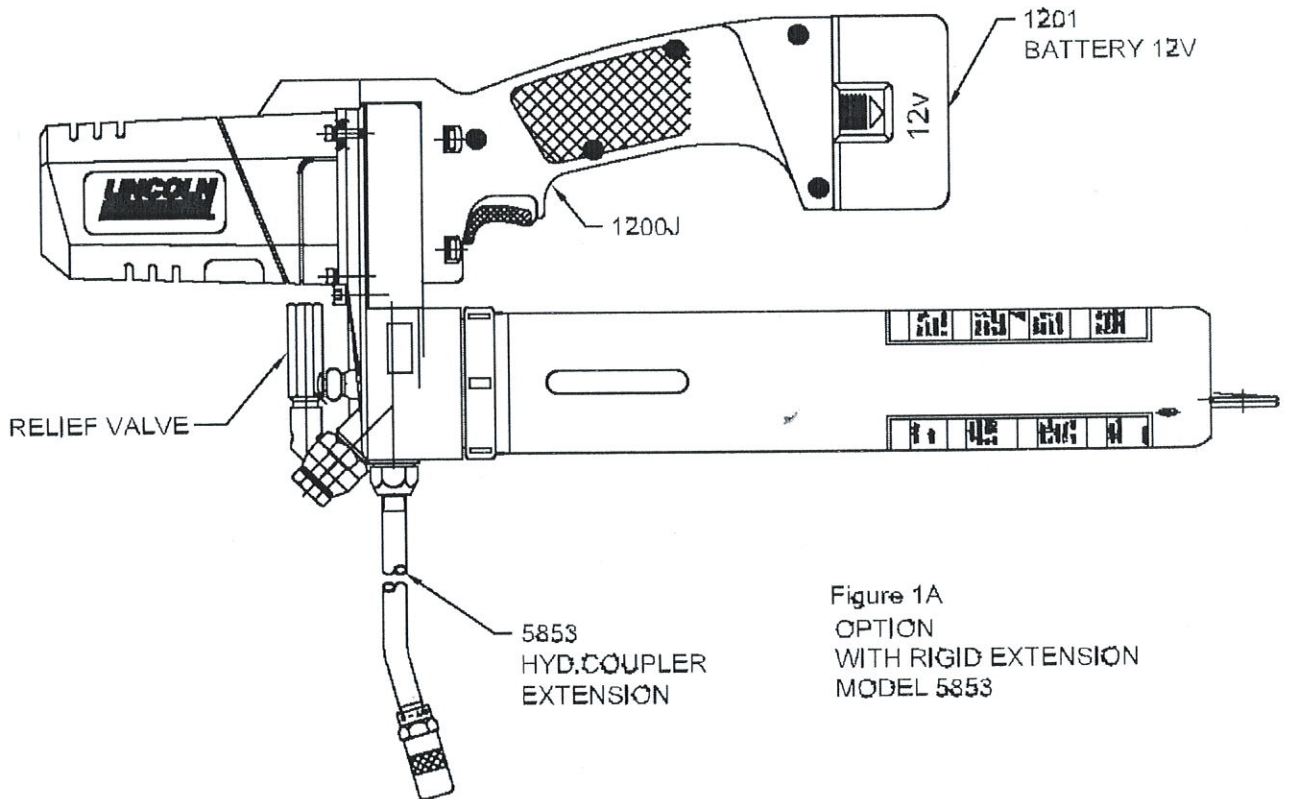


Figure 1A
 OPTION
 WITH RIGID EXTENSION
 MODEL 5853

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社 までご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、専用の 420mL 用蛇腹カートリッジグリース（以降カートリッジグリースと記述）を使用し、グリース給脂がスイッチ操作にて簡単に行えるグリースガンです。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告：

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意：

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。








警告



- グリースを取扱う際は、重要な注意事項があります。【グリース取扱上の注意事項】を熟読された上、ご使用いただく事をお願いいたします。また、本製品指定の純正カートリッジグリースを必ずご使用ください。

⚠ 注意

-  - このグリースガンは、グリースを高圧で吐出します。自分の手、または人に向けて吐出させるとケガをする事がありますので絶対に止めてください。
-  - カートリッジグリースを取付ける際、皮膚に触れない様にして下さい。皮膚に触れますと炎症を起こす場合があります。【グリース取扱上の注意事項】を参照ください。
-  - 本体は常に汚れを拭き取り、手を滑らせて取落とさない様注意してください。高所で使用する場合、油筒の鎖を引っ掛けて落としたりしない様注意してください。
-  - 本製品には、防水対策が施されていませんので、雨中等水のかかる場所に放置しないでください。漏電等思わぬ事故の原因となります。
-  - バッテリーの取扱事項は、バッテリー本体に記載してありますのでよく読んでから使用してください。





<NOTE>

- ・カートリッジグリースをセットしない状態、或いはグリースが無くなったままでの空運転は、ピストン等の故障原因となりますので絶対に行なわないでください。




【グリース取扱上の注意事項】

グリースを取扱う場合、下記事項を厳守してください。


⚠ 警告

-  - 目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱う際には保護眼鏡を使用する等、目に入らないようにしてください。
-  - 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱う際には保護手袋を使用する等、皮膚に直接触れないようにしてください。
-  - 食べないでください。(食べると下痢、嘔吐します。)
-  - 子供の手の届かないところに保管してください。


【応急処置】

-  - 目に入った場合は、清浄な水で十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
-  - 皮膚に触れた場合は、水と石鹸で十分に洗ってください。
-  - 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに直ちに医師の診断を受けてください。

【廃グリース・廃容器の処理】

-  - 廃グリース・廃容器（カートリッジ）の処理は、法令に従い適正に処理してください。

【保管方法】

-  - カートリッジグリースは、直射日光を避け暗所に保管してください。

使用前の準備

⚠ 注意



- 本製品は、420mL 蛇腹カートリッジ専用のグリースポンプです。必ず、本製品指定の純正カートリッジグリースをご使用ください。



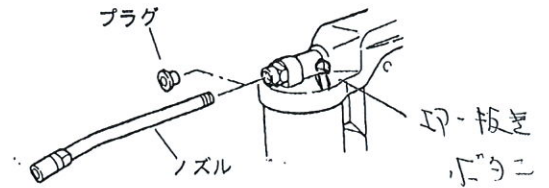
- バッテリーは、グリースの装着前に挿入しないでください。

<NOTE>

・カートリッジグリースを装着する際、斜めにねじ込んだり、無理に強くねじ込むと、ネジ部を損傷し、本体に正しく取付けできなくなりますので注意してください。

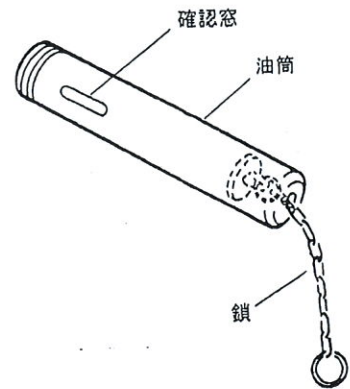
ノズルの取付け

本体吐出口部 (Rc1/8) のゴミよけプラグを外し、付属のノズルをねじ込み取付けてください。



カートリッジグリースの取付け

- 1) 本体より油筒をねじ戻して外してください。
- 2) 油筒の鎖を手元に最後まで引き出し、油筒底部溝の切り欠き部に引っ掛けてください。
- 3) カートリッジグリースのキャップをねじ戻して外し、カートリッジグリースを本体内のネジ部に取付けてください。

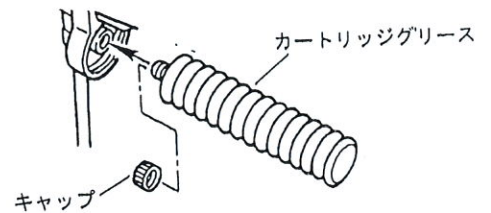


<NOTE>

・カートリッジグリース装着の際、グリースに砂やゴミなどが付着しないように注意してください。

- 4) 油筒を元通り本体にねじ込み、鎖を切り欠き部より外してください。

- 5) グリースがノズルから吐出しない場合は、グリースポンプを稼働させながら IP-板きボタンを押し、グリースが吐出するまで続けて下さい。



バッテリーの使用方法

バッテリーの取扱注意事項

- 水にぬれたバッテリーは使用しないでください。液漏れ、発熱、の原因となります。
- バッテリーは破裂させると、有害物質がでる恐れがありますので、火中や焼却炉には絶対に入れてください。

バッテリーの充電方法

注意



- 充電器 は、バッテリー専用のための充電器です。他の目的には使用しないでください。



- 初めて充電する場合や長時間使用されなかった後は、満充電とならないことがあります。2~3回バッテリーを使い切ってください。その後は、満充電できるようになります。



- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電しますと、表示ライトが『赤』の点滅を繰り返す場合があります。この様なときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。



- ゴミ詰まり等でバッテリーと充電器の接点が繋がらない場合は、表示ライトが『赤』の点滅を繰り返します。



- 充電開始後、表示ライトが『赤』、『緑』の交互点滅を繰り返す場合は、バッテリーの寿命またはゴミの詰まりで充電できません。



- 次の様な状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を最寄りの販売店へお持ちください。
①プラグを電源に差し込んでも表示ライトが『緑』に点滅しない。
②充電開始後、表示ライトが『赤』に点滅した後、2時間以上たっても充電が完了しない。
③バッテリーを挿入しても表示ライトが『赤』に点灯または点滅しない。





- 1) バッテリーを取出すときはセットプレート部を開き、バッテリーをしっかり保持して取出してください。
- 2) 急速充電器のプラグを電源に差し込んでください。
 - ①表示ライトが『緑』の点滅を繰り返します。
 - ②バッテリーを充電器の⊕・⊖に合わせ挿入しますと、表示ライトが『赤』に点灯し充電を開始します。
 - ③充電が完了すると表示ライトが『緑』の点灯に変わります。充電時間は、約45分です。

保守・点検

故障原因と対策

状況	原因	点検内容及び対策
モーターは 回転するが 圧力・流量不足	カートリッジが本体に完全にセットされていない	セットのやり直し
	(6)プランジャー、(3)プッシュが摩耗していないか	部品の交換
	(1)ノズル先端にゴミのつまり	点検・洗浄
	(21)ガン本体と(9)六角穴付ボルトの緩み	点検・増締
	(2)ユニオン組立内のスプリングの破損	点検・ユニオン組立交換
モーターが 回転しない	コンセントに確実に挿入されていない	点検
	モーターの焼付き	サービスを依頼
	車両のバッテリー容量不足	車両のアイドリング
	バッテリーの充電容量不足	

保守・点検

 注意	
	- 本製品には、防水対策が施されていませんので、雨中等水のかかる場所に放置しないでください。漏電等思わぬ事故の原因となります。
	- 日常、特別な保守は必要ありません。本体、特にモーター部をぶついたり、汚れたままで放置したりしない様取扱いに注意してください。感電などの思わぬケガのもととなります。
	- 本製品の汚れは、必ず拭き取り清潔にしておいてください。滑って取落として足などをケガすることがあります。

<NOTE>

- ・本製品は、高速タイプのため、プランジャー部に若干グリースが漏れる場合がありますが、故障ではありません。

<NOTE>

- ・カートリッジグリース装着後、本製品を初めて使用する場合は、本体内部のエアが抜けるまで、グリースの吐出に時間がかかることがあります。

⚠ 注意

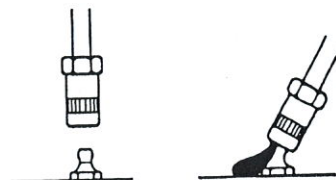


- 密閉箇所給脂の場合は、給脂する箇所にグリースが十分満たされるとモーターの回転が低くなります。この場合は、スイッチを離して給脂を終了してください。これ以上続けるとモーターが焼けることがあります。

給脂しようとするグリースニップルとノズルの先端をきれいに拭いてから、ノズル先端をグリースニップルに真っ直ぐに押し当て、チャッキングしてください。

スイッチを引いてグリースを給脂してください。グリースが正常に注入されていると、ニップル付近の溝や隙間から古いグリースが押し出されます。

給脂が終了し、ノズルをニップルから外す場合は、ノズルを斜めに傾けて内圧を抜いてから外してください。この時、若干のグリースが出てきます。



給脂困難な箇所に使用するには、別売りのマイクロホースの利用をご検討ください。












<NOTE>

- ・給脂中、モーターの回転が極端に遅くなったり、停止した時は、直ちにスイッチを離してください。

充電器

■使用上の注意

注意

-  - 直射日光の当たる所では充電しないでください。
-  - 充電器のコードを持って運んだり、コードを引っばってプラグを電源から抜いたりしないでください。
-  - 充電器を濡らさないでください。
-  - 昇圧器やエンジン発電機及び直流電源からの充電は絶対にしないでください。
-  - 充電器の風窓をふさがないでください。
-  - 充電器を分解しないでください。
-  - 電源は、一般家庭の AC100V を使用してください。
-  - 充電されるときは、火気や燃えやすい物から遠ざけてご使用ください。
-  - 室温 10°C~40°Cの範囲で充電してください。
-  - バッテリーを充電させた後、予備のバッテリーを連続して充電させる場合は、15 分以上の間をあけてご使用ください。
-  - 使用後は、コンセントからプラグを抜いてください。